



大善寺本堂（国宝）

前回メキシコの治安悪化について触れました。各地のニュース入手が容易になった為か、自分が歳を取ったせい、世界各地の治安レベルが低下しているように感じます。ロシアのウクライナ侵攻や、その影響もあって諸外国のインフレ率の高さも要因と思われます。為替が1ドル360円とか200数十円の頃から海外旅行をしています。当時の円換算でも今ほどの宿代や飲食費は掛からなかったように記憶しています。円安のみでなく海外旅行に出掛ける状況が続いていますが、安全で廉価な日本への観光客は増加して各地でオーバーツーリズム問題も起きています。1月に発表された New York Times が勧める旅行先「52 Places to Go in 2024」に、皆既日食の北米、五輪のパリに続いて日本では唯一、山口市が3位に入ったとのこと。まだ混んでいない「小京都」が評価されたようですが、これでここも観光客が殺到してしまうのでしょうか。今回はもう少し外人客が少なかった時期と場所の国内旅行の写真を拾ってみました。

2019年11月にNPO法人建築技術支援協会で行った1泊2日「歴史的建造物等探訪旅行」です。参加者は70代80代の方々が多く、10数名でマイクロバスでの旅行でした。YahooやGoogleの地図を使って移動時間や駐車場を確認して行程計画を私が担当、JR高尾駅集合、富士山を反時計回りで富士宮泊、久能山東照宮や登呂遺跡まで行きJR小田原駅で解散という、都内や夕方の中央自動車道上りを避けた行程としました。同協会の前年までの旅行と同様に分単位の計画でしたが、どの立寄り先でも80代の方も含めて全員がびたりとバスに戻ってくるなどで、バスの運転手さんから「初めはこんなに回れるかと思ったが、良くできた計画だ」との評も頂きました。地図ルート検索の移動時間は乗用車を想定しているようで、実際にバスではもう少し時間が掛かり一部当日予定変更もしました。一般道で時速65kmを超えると運転席で警報音が鳴り、同時にバス会社の事務所でも警報が点灯、またGPSでバスがどこを走っているかも常に事務所で監視できるようになっているとのことでした。富士山本宮浅間大社を翌朝に変更で「2日目朝の出発を早められないか」との提案もでしたが「運転時間の変更もバス会社の承認が必要」とのこと。途中の適切な休憩も含めて、運転手の実労働の管理システムが稼働していました。

1日目(11/4)	見学建造物等	場所	種別	滞在時間 "/分	到着時間 "/分	運行時刻 "/分	備考	
	JR高尾駅北口8:30集合	新宿7:30 京王線 高尾8:23 新宿7:32 中央線 高尾8:27		D	8:45	61.8	1:00	
1	大善寺	甲州市勝沼町勝沼3659	国宝	0:20	A 9:45 D 10:05	7.3	0:15	
2	旧高野家住宅	甲州市塩山上於曾1651番地15	華文	0:20	A 10:20 D 10:40	3.0	0:10	
3	清白寺	山梨県山梨市三ヶ所620	国宝	0:20	A 10:50 D 11:10	3.5	0:10	
4	大井保 窪八幡神社	山梨市北654	華文	0:20	A 11:20 D 11:40	3.5	0:10	
		コンビニ立寄り 昼食入手		0:10		7.5	0:15	
5	山梨岡神社	笛吹市春日居町鏡目1696		0:15	A 12:05 D 12:20	6.0	0:10	
6	甲斐善光寺	甲州市善光寺3-36-1	華文	0:15	A 12:30 D 12:45	0.4	0:05	
7	東光寺	甲州市東光寺3丁目7-37	華文	0:15	A 12:50 D 13:05	3.9	0:10	
8	眞田神社	甲州市古府中町2611	史跡	0:20	A 13:15 D 13:35	2.6	0:05	
9	山梨文化会館	甲州市北口2-6-10		0:40	A 13:40		文化会館で下車 甲府城址まで徒歩200m 甲府城跡：バス駐車場 予約必要055-227-6179	
10	甲府城跡	甲州市丸の内1丁目			D 14:20 A 14:35	7.3	0:15	
11	高堂家住宅(非公開)	高堂町字金山754番1		0:10	D 14:45 A 16:00	55.0	1:15	
12	穴石寺	富士宮市上条2057	華文	0:30	A 16:00 D 16:30	8.3	0:15	
13	富士山本宮浅間大社	富士宮市宮町1-1	華文	0:30	A 16:45 D 17:15	2.0	0:05	
	富士温泉ホテル花の湯	富士宮市ひばりが丘805			A 17:20		静岡の日没16:50	
			合計	4:25		168.6	4:10	合計時間

1 日目行程計画

冒頭の写真は、最初の立寄り先勝沼「大善寺」の本堂（1955年国宝指定 薬師三尊像を安置、薬師堂とも呼ばれる）です。鎌倉時代、元寇（弘安の役）の数年後 1286年に建てられた関東周辺で最も古い木造建築物で、周囲の広縁もいれると24m四方で、それを大きな檜皮葺屋根が覆っています。室内の附厨子（国宝）の他、重要文化財が多数あります。寺の開



創は718年で、「手にぶどうを持った薬師如来」を僧行基が夢で見るとその像を刻んで安置したのが始まり、「甲州ぶどう発祥の寺」とも言われています。平安初期に焼失、971年再建、平清盛、源頼朝、北条貞時（薬師堂再建立）、武田信春等に支えられてきたとのこと。すぐ近くが幕末の新撰組（甲陽鎮撫隊）と新政府軍の「柏尾坂の戦い」の場です。

**旧高野家住宅（甘草屋敷）** 江戸時代後期の大型民家で、桁行24.8m・梁間10.9m、銅板葺き（元は茅葺き、1960年に改修）切妻屋根、中央部に2段の突き上げ屋根。八代将軍吉宗の時代に薬用植物の甘草（カンゾウ）を栽培して幕府に納めていたことから「甘草屋敷」と呼ばれて、主屋・文庫蔵他、重要文化財が多数あります。



**清白寺** 1333年足利尊氏創立と伝えられる臨済宗寺院。唐様（禅宗様）建築代表的遺構の仏殿（国宝）、方三間裳階（桁行・梁間7.24m）付き、内部に文様彩色と漆塗が施されています。1415年建立、1682年の火事にも災いを免れたとのこと。伽藍配置は、総門・放生池・三門（鐘楼門）・仏殿・本堂（市有形文化財）が一直線に並び、禅宗形式。庫裏も重要文化財。



**大井俣窪八幡神社** 国指定重要文化財だけで9棟11件。本殿（重文）は桁行11間（3間社流造×3 + 2）、拝殿（重文）は桁行11間・梁間3間、鳥居（重文）は現存木造で最古とのこと。本殿のすぐ右横にある摂社若宮八幡神社本殿（重文）は1400年建立で窪八幡神社社殿のなかでも最古の建造物、3間社流造、檜皮葺で、柱は丸柱です。



**山梨岡神社** 本殿（重文）は1682年に造営、1703年に大改修、1927年に台湾阿里山の桧で全面改修。2座相殿（熊野大権現・国建大明神）の梁間正面1間背面2間・桁行2間、1間社隅木入り春日造、屋根は柿板葺きです。



**甲斐善光寺** 信州善光寺の焼失を恐れ1558年武田信玄が建立、金堂（重文）は1754年焼失、1796年に再建されたもの。山門（重文）は、高さ約15m幅約17mの和様と唐様を折衷した門、両側には未完成の仁王像が安置されています。1754年に焼失 1767年に再建、1959年の台風で倒壊し1962年に修理されています。





東光寺 仏殿

庭園

**東光寺** 仏殿（重文）は室町後期建立、桁行3間・梁間3間に裳階付、入母屋造、屋根は檜皮葺です。1582年織田信長が甲斐善光寺に本陣を置き東光寺を焼いたが仏殿のみ焼残り、1945年空襲でも仏殿のみ焼残ったそうです。池泉観賞式庭園（山梨県最高峰の日本庭園といわれる）があります。

**武田神社** 武田信虎が1519年に石和より移した躑躅ヶ崎館跡、信虎・信玄・勝頼の三代が居住、国指定史跡です。



武田神社

武田神社全図

拝殿

甲陽武能殿

**藤村記念館（旧睦沢学校 重文）** 擬洋風建築、旧睦沢村に明治初期に建築された学校、1966年武田神社境内に移築し藤村記念館に、2010年甲府駅北口に移築し交流ガイダンス施設になっています。

**山梨文化会館** 丹下健三設計のメタボリズム建築、1966年竣工。RC造（大梁はSRC造）地下2階地上8階塔屋4階建て延べ面積21,884㎡。2015～2016年に免震改修工事（16本の円柱の地下柱脚部に免震装置を設置）、直径約5mのコア柱1本当りでの支持荷重は約2,400t。中をくり抜いて、エレベーターや螺旋階段、トイレや空調設備等に利用されています。「空中庭園」を設けそれを埋めることで増床可能で、1974年に北東部分や南東部分に増築を行っています。



藤村記念館（旧睦沢学校）



山梨文化会館



歴史公園（山手門・山手渡櫓門）



**甲府城跡** 武田滅亡後、豊臣秀吉の命により徳川家康に対抗するために築城され、江戸時代には西側への備えの役を果たしたとのこと。城跡の一部が「舞鶴城公園」と「歴史公園」となっています。



舞鶴城公園



内松陰門

**高室家住宅** 江戸時代に医薬業を生業とした高室家の住宅（重要文化財 非公開）。主屋は1788年築、桁行18.4m・梁間9.1m、入母屋の茅葺屋根。グーグルマップストリートビューで、2012年には鉄板で仮葺きされ



銅門跡



天守台

ていて、2015年には仮設屋根が覆っていて茅葺屋根の改修工事だったと思われます。1863年築の長屋門、1846年築の文庫蔵、1857年築の初蔵、明治中期築の弁財天堂・前蔵・味噌蔵、1908年築の新蔵、薬草園、庭園などがあるとのこと。



行程変更で大石寺はパスすることになり、富士山本宮浅間神社は翌朝に回しました。夜は宿の近くの居酒屋で日本酒を堪能しました。2日目はまたいつか別の機会に。 (写真撮影 2019.11.04)

< Google マップ参照 >

URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

大善寺	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6572144,138.7430266,18z">https://www.google.com/maps/@35.6572144,138.7430266,18z</a>
旧高野家住宅 (甘草屋敷)	<a href="https://www.google.com/maps/@35.706291,138.7346564,18z">https://www.google.com/maps/@35.706291,138.7346564,18z</a>
清白寺	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6937695,138.7080548,18z">https://www.google.com/maps/@35.6937695,138.7080548,18z</a>
大井俣窪八幡神社	<a href="https://www.google.com/maps/@35.7047798,138.6898106,18z">https://www.google.com/maps/@35.7047798,138.6898106,18z</a>
山梨岡神社	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6646055,138.6388417,18z">https://www.google.com/maps/@35.6646055,138.6388417,18z</a>
甲斐善光寺	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6658191,138.5925507,18z">https://www.google.com/maps/@35.6658191,138.5925507,18z</a>
東光寺	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6678687,138.5883756,18z">https://www.google.com/maps/@35.6678687,138.5883756,18z</a>
武田神社	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6864455,138.5767431,18z">https://www.google.com/maps/@35.6864455,138.5767431,18z</a>
藤村記念館 (旧陸沢学校)	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6678033,138.5701247,19.57z">https://www.google.com/maps/@35.6678033,138.5701247,19.57z</a>
山梨文化会館	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6683466,138.570839,18.32z">https://www.google.com/maps/@35.6683466,138.570839,18.32z</a>
甲府城跡	<a href="https://www.google.com/maps/@35.6657324,138.5708621,17.07z">https://www.google.com/maps/@35.6657324,138.5708621,17.07z</a>
高室家住宅	<a href="https://www.google.com/maps/@35.609678,138.5575762,19.33z">https://www.google.com/maps/@35.609678,138.5575762,19.33z</a>

**NPO 法人建築技術支援協会**は、1999年設立、大学教授、行政関係、建設会社、住宅メーカーや、設計事務所等の現役や退職者が会員で、80才代・90才代の方も活動を続けている団体です。協会の目的は定款の中に下記の通り記載されています。ご興味のある方、一緒にいかがですか。詳細や入会については、次のHPをご参照ください。コロナで中断していたこのような旅行もまた再開される予定です。

<https://www.psats.or.jp>

**目的：本会は、高度な技術と豊富な経験を有する会員相互の協力により、建築技術に関する幅広い分野で、調査研究および教育普及活動を行うとともに、不特定多数の市民・団体等を対象に助言又は支援・協力をを行い、建築界の技術水準の高揚、建築物の品質向上、次世代人材の育成を推進し、もって社会教育、健全なまちづくり、環境の保全、地域安全、国際協力等の公益の増進に寄与することを目的とする。**

(2024.07.01)